

令和7年第19回玉野市教育委員会 会議録

I 期 日

令和7年11月20日（木）

II 会議時間

開会時間：15時30分

閉会時間：16時24分

III 出席委員

教育長 多田 一也

教育長職務代理者 横山 純子

委員 二宮 崇

委員 小野 文子

委員 板倉 宏

IV 欠席委員

なし

V 説明のため出席した職員

教育次長 萱 哲司

教育総務課長 琵琶 学

学校教育課長 的場 佳代

社会教育課長 久富 真吾

学校再編推進課長 森 真志

就学前教育課長 片山 琢巳

（書記）遠藤 真由

VI 会議内容

1 開 会

2 会議録の承認

（1）令和7年第16回教育委員会会議（令和7年9月25日）の議決事項等について

教育長の報告：なし

会議録の承認：2件（第14回・第15回）

議 事：なし

協 議：市内学校の現状と課題及び今後の対応について

報 告：なし

そ の 他：令和7年10月／11月 行事予定

3 教育長の報告

先日、岡山県都市教育長協議会があり様々な話をしたが、教育DXについて、今年度から本市では他市に先駆けてクラウド型のシステムを入れており、年度当初はシステム変更による混乱は多少あったが、少しずつ慣れていき、いい形で運用をスタートできている。

次に、2学期の始業式について、数年前から、学力向上や授業時数確保の点から、8月20日頃から2学期を開始する市町が増えてきたが、暑すぎる、登下校の熱中症が心配だという声もあり、9月1日に戻す自治体が増えているとのこと。授業時数がオーバーしているのを標準授業時数に近づけるよう減らす傾向にあり、始業を早めたところも9月1日に戻しつつあるというような話があった。

次に、国が教員の処遇改善を進める動きがあり、特に給特法とあって、残業代はつかないが給料の4%の調整手当の付与を50年間ぐらいやってきているが、来年度から1%ずつ上げていき令和13年に10%とする件について情報交換した。

次に、学校によっては、校長、教頭の他に、主幹教諭、指導教諭を配置している状況であるが、次年度以降、指導教諭と教諭の間で、教務を担当する人をイメージして「主務教諭」という新しい職を配置し、手当をつける動きがある。ただ、現場からすると、その位置づけが非常に難しいということで、反対の声も上がっているが、月額6千円の手当をつける動きが全国的に進んでいこう。岡山県の場合は令和8年度については、主務教諭についてはまだ配置しないと言われている。担任が非常に多忙であることから、担任に月額3千円の手当をつける動きについては、クラスの児童生徒数が35人と少人数で手当が同じでよいのか、副担任は手当がないのか等、少し混乱はあるが、教員の処遇改善に繋がるものであり、教員不足の解消の一つとして国が動き始めているというような状況である。

4 議 事

(1) 議案第35号 令和7年度12月補正予算（教育委員会関係分）について

(会議は非公開で実施しているが、会議録公開時点において、内容が既に公表されているため、会議録を公開する。)

(教育総務課長) 資料により説明

(2) 議案第36号 玉野市立学校に関する条例の一部改正について

(会議は非公開で実施しているが、会議録公開時点において、内容が既に公表されているため、会議録を公開する。)

(学校再編推進課長) 資料により説明

(原案どおり可決)

5 協 議

(1) 令和6年度 教育委員会の事務に関する点検・評価報告書（最終稿）について

(教育総務課長) 資料により説明

(横山委員) 8ページの評価視点のところにある1～5のナンバリングと、各ページにある評価視点の点数、これは別物ということで良かったか。

(教育総務課長) 前回指摘いただいた内容を踏まえ、補足説明を入れた。

6 報 告

(1) 令和7年9月定例会市議会一般質問概要について

(教育次長) 資料により説明

(2) 「市民合意の得られる学校統廃合計画に見直し、日比中学校の存続と玉以西で2つの小学校の存続を求める要望書」の提出について

(学校再編推進課長) 資料により説明

(横山委員) 日比中は防災上優れていると思うが、日比中を小学校に改修する案についてはどう捉えられているのか。

(教育長) 四つの小学校を一つにすることは非常に乱暴であり、施設の改修も必要となると反対されており、西に一つ中学校を残すべきだと言われている。

(二宮委員) ここで言われてるのは、玉小と玉原小を統合、日比小と二日比小を統合、玉中を日比中に統合する。適正配置でいうと位置的にはそのとおりでだろうが、規模的には小さい。適正規模で考えると、なかなか厳しい。子どもの減少で統廃合はやむを得ないということも理解してくれており、今のところ、規模が足りないというところもある。

(教育長) 来られたときに話したが、「日比中が安全だから宇野中が日比中にくればよい。こんなに危ないところで新しく500人規模の大きい学校を作るのか。」と言われている。

(二宮委員) 何年前かにそういう議論があるなら分かるが、今の現状、この形で再編すると、おそらく何年後かにまた再編しなければいけない状況が発生する。

(教育長) 最初の素案のAからEプランの中の一つにはあったが、それを踏まえ、検討委員会で1年半協議した結果が現在の形である。

(教育総務課長) 検討委員会の中では、クラス替えができる規模にしたいという中で、玉と玉原、日比と二日比で再編したのでは、短期的はそういう環境を作れるかもしれないが、数年後には1クラスになってしまう。それでは、児童の中には2回再編を経験する子どもが出る可能性もあるため、適正規模を考えると、少し先を見越して4つを一つとのことだった。

(3) 令和7年度 年間スケジュール (調整)

(教育総務課長) 資料により説明

(4) 令和7年12月/令和8年1月 行事予定

(教育総務課長) 資料により説明

7 閉 会

次回、教育委員会は令和7年12月25日(木)14:00から開催するので参集願う。以上で、令和7年第19回教育委員会を閉会する。

会議録調整者 書記 遠藤 真由

会議録署名委員 教育長 多田 一也

教育長職務代理者 横山 純子